

## 令和2年度赤十字ポスターコンクール ～たくさんのご応募ありがとうございました!～

兵庫県支部では毎年、兵庫県内の小・中・高・特別支援学校を対象に「赤十字ポスターコンクール」を実施しています。今年度は新型コロナウイルス感染症により夏休みが短縮された学校も多く、応募があるかどうか心配していましたが、67校から425作品の応募をいただきました。「新型コロナウイルス感染症」や「日本赤十字社兵庫県支部創立130周年」をテーマに描かれた作品も多く、力作ぞろいでした! 37作品が入賞しましたが、ここでは優秀賞の6作品をご紹介します。  
\*兵庫県支部ホームページにて、入賞作品および展示予定などをご観いただけます。

**最優秀賞**  
横田 麻里子さん  
神戸市立住吉中学校  
3年



**創立130周年  
特別賞**  
松下 七海さん  
兵庫県立龍野北高等学校  
2年

**優秀賞**  
野 友莉香さん  
神戸市立千鳥が丘小学校  
6年



**優秀賞**  
織邊 和さん  
加西市立加西中学校  
1年



**優秀賞**  
神園 侑奈さん  
兵庫県立姫路工業高等学校  
1年



**優秀賞**  
西海 なつみさん  
兵庫県立阪神昆陽特別支援学校  
高等部3年

いのちと健康を守る赤十字活動は  
皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています。  
**活動資金にご協力をお願いします**

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます  
口座記号番号: 01110-0-1136  
口座加入者名: 日本赤十字社兵庫県支部  
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。



## 応募者プレゼント

日本赤十字社兵庫県支部オリジナルマスクを10名様に  
プレゼントします!!

抽選で  
10名様

日本赤十字社兵庫県支部創立130周年を記念したオリジナルマスクができました♡  
レギュラーサイズのホワイトとグレーの2色セットで、神戸の靴メーカーが作る、日本製高耐久マスクです。(非売品です、店頭では販売していません。)  
ソフトストレッチ素材のため耳への負担が少なく、さらさらの肌触り。繰り返し洗ってご使用いただけます。  
※本マスクは感染を完全に防ぐものではありません。



たくさんのご応募をお待ちしています!

### 応募方法

①氏名②郵便番号③住所④性別⑤年齢⑥電話番号の本誌でよかった記事(複数回答可)⑦赤十字病院、血液センターへのメッセージ(任意)をメールまたははがきでご応募ください。抽選でプレゼントが当たります! メ切りは2020年11月30日必着。  
当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。  
※いただいた個人情報はプレゼントの発送および当支部からの連絡のみに使用します。  
メール shinko-ka8921@hyogo.jrc.or.jp ★件名に「応募者プレゼント」とご記入ください。  
はがき 〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1-4-5 日本赤十字社兵庫県支部 応募者プレゼント係



お知らせ

## 12月1日から「NHK海外たすけあい」キャンペーンが始まります!

日本赤十字社では、12月1日～25日まで「NHK海外たすけあい」キャンペーンを実施します。世界各地で紛争や自然災害、飢餓、病気などで命の危機に直面している人々を救うため、日赤が毎年NHKと共同で実施しているキャンペーンです。  
第38回目となる今回は、「国境を越える感染症 赤十字の視点と経験」をメインテーマとし、現下の新型コロナウイルス感染症に対する予防対策及び啓発活動を十分に踏まえつつ国際事業を展開する予定です。



詳しくはこちらの特設サイトをご覧ください → <http://campaign.jrc.or.jp/kaigai/>

皆さまの温かいご協力、よろしくお願いいたします!

### 講習のご案内

救急法基礎講習  
(1日の講習)

1月9日(土) 13:00~17:30  
1月10日(日) 13:00~17:30  
1月23日(土) 13:00~17:30  
2月11日(木・休) 13:00~17:30  
2月23日(火・休) 13:00~17:30

※申込期日は開催日の1ヵ月前までです。

講習についての最新情報につきましては、ホームページにて随時発信しています。ホームページにてご確認ください。お問い合わせください。

講習に関するお問い合わせ

**Tel.078-241-1499**

ホームページ(講習のページ)

<https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/>

※隔月(奇数月)に発行しています。

**日本赤十字社** 兵庫県支部  
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1丁目4番5号 TEL.078-241-9889 FAX.078-241-6990

赤十字 兵庫 検索 <https://www.hyogo.jrc.or.jp/>

ひょうごの赤十字 11月号 [2020年11月1日発行]

Japanese Red Cross Society Hyogo Chapter

# ひょうごの 赤十字+

2020  
11

■ ホームページ  
<https://www.hyogo.jrc.or.jp/>  
■ インスタグラム  
[https://www.instagram.com/nisseki\\_hyogo/](https://www.instagram.com/nisseki_hyogo/)  
■ Facebook  
<https://www.facebook.com/nisseki.hyogo/>



いのちと健康を守る活動に  
ご協力感謝いたします。



第八管区海上保安本部との合同救護訓練



新型コロナウイルス  
疑似患者待機所



- 兵庫県・阪神地域合同防災訓練に参加
- 救急法のオンライン講習をはじめました
- 第八管区海上保安本部との合同救護訓練を実施
- みなと銀行と遺贈に関する協定を締結
- 県内各地で地域赤十字奉仕団員研修会を実施
- 令和2年度赤十字ポスターコンクール



## 兵庫県・阪神地域合同防災訓練に参加

9月20日(日)、コロナ禍における南海トラフ地震の発生及び風水害による孤立集落の発生を想定した兵庫県・阪神地域合同防災訓練が実施され、県内4会場において、自衛隊や消防・警察など約70機関から約700名が参加しました。兵庫県支部も医療救護訓練に参加し、災害時の実際の動きや他機関との連携等について確認しました。

神戸赤十字病院の救護班は、メイン会場の尼崎市立中央中学校に設置された合同指揮本部および医療救護所において赤(重症)エリアを担当し、尼崎市に津波が到達すると想定される「約2時間後」を意識しながら、消防・自衛隊など他機関と連携して、搬送されてくる傷病者の対応にあたりました。

また、会場内の体育館において避難所の設置・運営訓練も実施され、ソーシャルディスタンスに配慮した配置等を確認したほか、避難者を「発熱あり」と「発熱なし」に分けて避難場所を設定するなどの感染症対策も行われました。



重症患者の対応にあたる神戸赤十字病院救護班



避難所設置・運営訓練



合同指揮本部で他機関と調整する救護班員

## 第八管区海上保安本部との合同救護訓練を実施

9月24日(木)、「海上保安庁と日本赤十字社との業務協力に関する協定」に基づき、今後発生が予想される南海トラフ地震等の大規模災害時に備え、連携を強化するため、第八管区海上保安本部との合同救護訓練を実施し、管内から姫路赤十字病院、多可赤十字病院、神戸赤十字病院の救護班が参加しました。

今回の訓練は、南海トラフ地震により兵庫県全域に甚大な被害が発生し、淡路市に多数傷病者が発生したという想定のもと、「巡視船みうら」に日赤救護班および国内型緊急対応ユニット(dERU)を搭載し、船内にて傷病者のトリアージおよび処置を行いました。傷病者の中には新型コロナウイルス感染症を疑われる者がいるとの想定で、訓練参加者は防護服やフェイスシールドを身につけ、発熱やせきなどの症状がある患者には専用の救護所を設けて、対応しました。

訓練後の検証会では、「2つの組織において、傷病者受入れの手順や資機材の呼び方が異なるなど、スムーズに活動できない場面もあったが、そういった課題も含めて今後の連携強化につなげていきたい」という意見がありました。



医療資機材を巡視船みうらに搭載する救護班員



船内救護所で活動する救護班員

兵庫県支部では、多様な訓練・研修を定期的の実施し、災害時の対応に備えています。

## 地域赤十字奉仕団員研修会を県内各地で開催

毎年秋に実施している地域赤十字奉仕団員研修会を県内11カ所にて開催しました。

今年は新型コロナウイルス感染症により開催が危ぶまれましたが、感染予防対策をしっかりと行っただけで実施することとなりました。

研修会では、災害への備えと題し、避難所での使用を想定して、トイレやパーテーション、ベッドをダンボールで作成しました。参加者の皆さんは、被災時の状況を思い浮かべ、より使いやすくするためにはどうすべきかアイデアを出し合いながら作成しました。続いて、WEB会議ツール「ZOOM」の接続体験を行いました。パソコンやスマートフォンに慣れない方も多く、苦戦する場面もありましたが、無事に接続出来た時には、パソコン越しに手を振りあうなど、楽しくオンラインで会話することができました。

研修終了後、参加者からは「自助・共助・公助を意識し、日々防災に努めたいと思いました。」「パソコンには抵抗がありましたが、新しい体験もできて、実りのある研修会でした。」といった感想をいただきました。コロナ禍だからこそ、実際に会って話すことができるという幸せを感じた研修会となりました。



## 救急法のオンライン講習をはじめました



突然の心停止等の傷病者に対応するための一次救命処置や、とっさのけがに対応するためのきずの手当等を学んでいただく赤十字救急法の講習に、会場へ行くことによるコロナ感染を心配することなく自宅等からご参加いただけるように、Zoomを使ったオンライン講習を8月から始めました。引き続きホームページで受講申し込みを受け付けておりますので是非ご参加ください。

受講料:無料

開催日程:ホームページをご確認ください → <https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/online/>

## みたと銀行と遺贈に関する協定を締結

株式会社みたと銀行と日本赤十字社兵庫県支部は、9月17日(木)、「遺言信託等」に関する協定を締結しました。本協定により、日本赤十字社兵庫県支部に遺贈を希望される方につきましては、当支部からのご紹介により、みたと銀行がご相談の窓口となって個別にご相談の対応をさせていただくとともに、必要に応じて「遺言信託」「遺産整理」などの商品・サービスのご提供をさせていただくことで、円滑な意向の実現が可能となりました。

株式会社みたと銀行と日本赤十字社兵庫県支部は、本協定の締結を通じてより一層の協力体制を構築するとともに、地域医療の発展、社会貢献に取り組んでまいります。



## 遺言・相続財産・お香典でのご協力について

「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出が増えています。日本赤十字社では、このような尊いご意思に応えるために、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産等のご寄付を承っております。

お問い合わせは☎078-241-8921(振興課)まで